

パブリックコメント公募の結果について

第3期上砂川町子ども・子育て支援事業計画(素案)に対して、町民の皆様からご意見を公募しました結果についてお知らせします。

貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

■いただいたご意見の内容等（提出いただきましたご意見は、できるかぎり原文のとおり掲載しております。）

No.	意見の内容	町の考え方
1	(8) 児童・生徒調査結果④将来についてのアンケート集計結果で小学生児童の 84.2%が夢があったものが中学生生徒では 50%と半数が夢を諦めている現実、数字だけを記載し、6 課題の整理で何も触れていないのは如何でしょうか？この現状の課題の解決が重要であると思います。	(8) 児童・生徒調査結果④「将来について」ですが、「上砂川町子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書」81 ページに、将来の夢がないと回答した児童生徒に対し、追加で「将来の夢がないと答えた理由」について聞いています。小学生 6 人のうち 83.3%が、中学生半数の 13 人のうち 69.2%が「今すぐに何も思いうかばないから」と回答しています。 この結果から一概に夢を諦めているとは言えず、小・中学生の成長段階の過程において、いまだ自分自身の将来の夢が定まらない子どもたちが多数いることがうかがえます。 子ども・子育て支援事業計画では、子どもの夢がかなうことができるよう、子育てへの負担軽減のための経済的支援を課題ととらえ施策を展開します。 素案の 39 ページを一部修正します。

また、計画の全体随所にまだ、「切れ目がない」という表現があります。総合計画でも指摘しましたが、制度施策において、そもそも切れ目があることは論外で、切れ目がないのは当たり前で、あえて記載し強調することで現状、切れ目があることを認め改善するという解釈も成り立ちます。10 年ほど前なら、はやりで使われていたのかもしれませんが、現在や向こう 5 年の計画の表記にはそぐわないと思われます。

「切れ目がない」という表記は、本計画の策定根拠となります令和 5 年に国が策定した「子ども大綱」の中においても用いられており、子育て施策の継続性を最も重視するうえで適切な表記と考えます。